

平成20年 5月22日

各 位

会社名 日本製麻株式会社
代表者名 取締役社長 中本 広太郎
(コード番号 3306 東証第2部)
問合せ先 取締役経理部長 池田 明穂
(TEL. 078-332-8251)

平成20年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成19年11月22日の決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円、%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| 前回発表予想(A) (平成19年11月22日発表) | 7,095 | 180 | 131 | 56 | 1.53 |
| 今回修正予想(B) | 7,503 | 291 | 210 | 69 | 1.90 |
| 増減額(B-A) | 408 | 111 | 79 | 13 | — |
| 増減率 | 5.8% | 61.7% | 60.3% | 23.2% | — |
| 前期(平成19年3月期)実績 | 6,924 | 210 | 146 | 57 | 1.56 |

2. 平成20年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円、%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|-------|-------|--------|--------|----------------|
| 前回発表予想(A) (平成19年11月22日発表) | 5,340 | 77 | 41 | 29 | 0.79 |
| 今回修正予想(B) | 5,452 | 86 | 28 | 15 | 0.41 |
| 増減額(B-A) | 112 | 9 | △13 | △14 | — |
| 増減率 | 2.1% | 11.7% | △31.7% | △48.3% | — |
| 前期(平成19年3月期)実績 | 5,385 | 110 | 56 | 23 | 0.65 |

3. 理由

修正の主なものは、以下のとおりであります。

(1) 連結業績予想の修正理由

売上高は、ほぼ予定通りでしたがマット事業において海外及び国内からのアジア・中東諸国向け車種の需要の増加や海外子会社のタイ国通貨バーツ高による円換算により増収となりました。

営業利益は、マット事業の海外での営業活動による増収や食品事業の収益の改善などにより、前回の発表予想数値を上回る見込みとなりました。この影響により経常利益、当期純利益についても修正いたします。

(2) 個別業績予想の修正理由

売上高は、マット事業では中国向け車種の需要が好調に推移し、食品事業では穀物市場の国際価格が急騰し、大幅な原材料価格上昇に伴う値上げ前の駆け込み需要などにより増収となり、水産事業では子持ち鮎の相場が良化し堅調に推移しましたが、産業資材事業における米麦用麻袋は政府の減反政策による需要の減少や輸出用合成繊維の環境問題により売上が減少、ホテル事業では婚礼の受注は少子化や多様化などにより減収となったものの、概ね計画を達成しました。

営業利益は、マット事業による増収、及び食品事業の販売価格の適正化や円高による為替相場の影響により改善されましたが、経常利益では輸入価格の安定化を図るため長期為替予約による時価評価を行ったため為替差損 69 百万円を計上し減益、この影響により当期純利益も修正いたします。

以 上